

「砥部町少年少女発明クラブ」の取組

砥部町教育委員会社会教育課 社会教育係

砥部町少年少女発明クラブは平成2年発足し、今年で29年目を迎えました。発足当時、木工教室のような教室から始まりましたが、現在では様々な分野に精通する指導員のもと、ものを作る楽しさや創作する喜び、また科学に対する興味や関心をもてる場として活動しています。

1 クラブの概要

活動日：毎月2回土曜日（年約21回）10時～12時
 資格：町内在住の小学4年生～6年生（定員20名）
 登録費：年3,000円
 指導：専任指導員5名 学校指導員7名（輪番）
 活動場所：宮内小学校図工室



ピタゴラススイッチの制作

2 取組内容

月	日	活動内容
5	11	開講式
	25	木工基礎工作（のこぎり等道具の使い方）・ピタゴラススイッチ制作
6	8	電子基礎工作（はんだの使い方）・作品決定・ピタゴラススイッチ制作
	22	作品決定
7	6	設計図づくり
	26	愛媛県児童発明工夫展に向けて作品づくり
8	5	〃 はんだづけ
	20	施設研修（新居浜高専・愛媛県総合科学博物館）
	23	一日作品づくり
9	7	作品づくり
10	5	指導員作品事例・後期作品発案
	19	作品作り
11	9	
12	21	
1	18	
2	1	
	15	
3	7	糸のこぎりの使い方を説明
	14	



今年度は町内2校より、男子13名、女子4名の計17名が登録しています。

クラブのモットー

- ① 楽しみながら自由に創作活動を行う
- ② 新しい考えを取り入れ、作品を完成させる喜びを味わう
- ③ 基礎的、基本的な技術を身につける

例年、5月の開講式に始まり、9月までは愛媛県児童・生徒発明工夫展への出品に向け、まずは様々な道具の使い方や基礎木工、またLEDやスイッチなど電子基板などを使い、はんだ付けの練習などを行います。学校の授業とは違い、初めて触る道具や鋭利な刃物など使うため、安全への配慮は欠かせませんが、自分で触り、使ってみることでだんだんと使い方のコツなども習得していきます。

3 成果と課題

前期は思いのままに「ピタゴラススイッチ」を作ってみるところから始めました。例年、後期は前期で身に付けた技術を生かしながら自由に作品を完成させ、クラブ内でのコンテストを行っていましたが、今年度は町内の幼稚園や保育所の子供たちに手作りのおもちゃをプレゼントしようというコンセプトのもと、作品作りに取り組みました。愛媛県児童・生徒発明工夫展では特賞1点をはじめ、優秀賞3点、努力賞7点と多くの作品が入賞しました。また、中学生になったOBがボランティアとしてクラブに来てくれたり、県外の大学に進学したOBが、帰省の際にクラブに来て後輩の面倒をみてくれたりと世代間の交流にもつながりができています。進学後も、ものづくりの楽しさを追及し、全国の技術コンテストで入賞するなど、うれしいニュースもありました。また、中学校で不登校気味になっている生徒がクラブに行きたがっていると保護者から相談を受けるなど、クラブが子どもたちの居場所となっていたことを知り、うれしく感じることもありました。

課題としては、年々、体験活動の少なさからか、あまり器用とはいえない児童が多く、率先してアイデアを膨らましたり工夫したりしてみようというイメージがもてる児童が減っているように感じます。日常に不便を感じるものが少ないのか、アイデアが浮かびにくく、「こんなものがあれば便利になるかも」という発想が少ないように感じます。

安全に道具を使うことを習得するのはもちろんですが、材料や部品を代用したり、工夫したりすることで、発想を膨らませ、便利で誰もが使いやすいよい作品づくりができるよう子どもたちが意欲をもって楽しく学べる環境づくりや居場所づくりに努めていきたいと思えます。

4 おわりに

今年度までは小学校の図工室をお借りし、活動を行っていましたが、中央公民館の大規模改修に伴い、当クラブも活動拠点を公民館に移すことになりました。当クラブは1年毎の活動単位となり、中学進学とともにクラブを卒業しなければなりません。今後はクラブ員以外にも、中学生の受け入れや、小学校生向けの工作体験、また、大人を対象とした木工教室など、幅広い世代に作る楽しさを体得するきっかけづくりになる学習展開をしていきたいと思えます。